

2018年度 日産・自動車大学校 インターンシップカリキュラム

インターンシップ教育目標

学校で学んだ理論と技術を企業において実践し、習熟度を確かめるとともに職場の厳しさ、生産性を配慮した作業方法、お客様対応などについて学び、サービス工場の実務をより深く理解する。さらに、今後の学習課題を具体的に自覚し、残された在学期間の目標とする。

(標準時間 1時間=50分)

教育項目	教育内容	教育目標	指導概要	標準時間
導入教育	企業の方針に従い行動できるようにする	社会の厳しさを養う	企業人として責任ある行動をとらせ、意識の改革を行う 就業規則や仕事に対する基本的な姿勢を理解させる	6
企業組織	会社各部署の業務内容、人員配置、整備工場の設備を知る	企業の基本構成を体系的に深く学ぶ	会社の組織、各部署の業務内容及び業績評価などについて学習する。指示、報告、連絡、相談など、業務遂行に必要なスキルを具体的に習得させる	
	整備工場の組織、業務内容を知る	整備工場の組織と業務に必要な知識を理解する	整備工場における業務の流れ、各部署の組織的なつながりを理解させる。職場での規律、ルール、マナーを理解し仕事を効率的に進める方法を学ばせる	
CS活動	CS活動	CS活動を実践する	CS活動の目的と意義を理解させ、日々の活動を通じてお客様の満足度を高めるために必要な項目を習得させる	6
	挨拶	組織内での挨拶、お客様に対する挨拶、礼儀、マナーを身につける	職場のコミュニケーションとしての挨拶、礼儀、マナーを身につけ言葉使いを覚えさせる。マニュアルを通じて接客としての挨拶、礼儀、マナーを習得させる	6
	電話対応	電話における対応、礼儀、マナーを身につける	電話の受け方、かけ方のポイント、電話の取次ぎの注意、携帯電話のマナーなど電話に関する対応、礼儀、言葉使いを身につけさせる	6
	顧客対応	来店顧客への対応、礼儀、マナーを身につける	来店客の出迎えから、見送りまでの対応を実践させ習得させる	14
整備体験	整備体験	日常の整備作業を体験する	基本的な整備作業を実践する。作業要領書をもとに定期点検、整備作業ができるよう体験させる	70
	部品の供給体制	部品発注システムを理解する	日常的な整備作業を通じて、部品の発注と確認など部品発注システムを理解させる	6
	車両受入、納車	車両受入から納車までの流れを理解する	顧客対応、問診、記録簿の作成、整備後説明などサービス業務全般を理解・習得させる	14
	作業効率	作業効率化の実際を学ぶ	基本的な作業項目を効率化するための作業分析と環境改善の進め方を理解させる	6
	見積書の作成	見積書の作成を学ぶ	サービスに関する見積書の作成を行わせ、その手順を習得させる	6
	高難度整備作業	高難度整備作業を体験させ高度修理法を学ぶ	エンジン、シャシ、振動、騒音などの高難度整備作業を体験させ、故障原因を追求する手順・流れと、その修理法を習得させる	18
	新技術対応	新技術に対する整備作業を体験させ新技術整備を学ぶ	ハイブリッド、圧縮天然ガス、筒内噴射、コモンレール、CVT車両安定制御装置、エアバックなどの新技術を体験させ習得させる	18
企業の環境と安全	整備工場の維持管理手法	整備工場の維持に必要な環境管理と安全管理を学ぶ	整備工場から排出される産業廃棄物の処理や環境保全対策について概要を理解させる。職場の安全管理と作業効率管理の概要を理解させる	24
	環境	整備工場から排出される産業廃棄物の処理を学ぶ	産業廃棄物の処理方法、manifest制度、自動車リサイクル法、LLCやフロンガスなどの回収方法を学ばせる	
	安全	整備工場における安全管理を学ぶ	安全管理の重要性と安全管理による作業能率向上の関係を理解させ、職場の安全意識と実際の工夫・改善方法を理解させる	

※ 合計 200時間